

～ 昨日の風 明日の風 ～

## 経営コンサルタント 独白録

【第76回】 Society 5.0(ソサエティ5.0)を迎え撃つ!



戸敷 進一

1956年生まれ、宮崎県出身の経営コンサルタントで、(佛)経営改善支援センター(福岡市、URL <http://sien.co.jp/>) 代表取締役。業種を問わない「組織活性化」の専門家で、全国300社以上の企業の活性化を指導。全国の商工会議所や企業などからの依頼で講演活動もおこなう。明確で分かりやすい表現で驚くほど短期間で「組織」を変えるのが強み。また、帝国データバンクの契約コンサルタントとして九州各地の企業を中心に多くの実績を上げている。

いよいよ2019年が終わろうとしています。今年  
は新元号の制定の年で「令和元年」でもありまし  
た。国家的行事の中で異様に「祝日」が多く、多  
くの企業で業務に支障が出たのではないでしょ  
うか。何よりも今年は月曜日の「休日」が10日あ  
って、私も大いに仕事の段取りが狂い、その影響  
は年末まで響いています。本年から順次施行され  
た【働き方改革法】が進むと、思いもよらぬ業務  
上のアクシデントに見舞われてしまうかもしれませ  
ん。

### 教育現場の疲弊

先日、退職間近の校長先生と話しました。

「もはや学校教育は完全に破綻しています。心  
ある教師が、不定性なもの、つまり【辛抱する】  
【努力する】【挑戦する】【体験する】という試  
みを行うと、即座に、モンスター・ペアレント(異  
常な親)からクレームが来る時代です。体育の時  
間に急な雨で子どもたちが濡れただけで子ども  
が風邪を引いたらどうするのだ、という凄まじ  
い文句を言われるのです。持久走をさせただけ  
で、そんなものに意味はない!なぜ子どもにそ  
んな無茶なことを押し付けるのか!と言われま  
す。それを真に受けた教育委員会まで一緒にな  
って大騒ぎをします。学校で子どもたちに生き  
る意味や生きる知恵を教えるのはもう不可能  
です。退職後は教育と関わりのない業界で働  
くつもりです」

教育の現場で起こっていることは、社会の中  
で起きていることです。実際のコンサルティング  
の現場で実感する若い社員たちに対する様々  
な違和感、20代のみならず、30代、時には  
40代の人達にまで波及しています。

### Society 5.0

これからの経営においては、従来、家庭や学  
校、社会でしつけられていたものから教えな  
ければならない状況になりつつあります。特  
に「社会人」「組織人」教育が欠かせませ  
ん。「経営者vs従業員」「プライベートvs  
仕事」などという今風の「対立構造」から  
は誰も得るものはないのです。未曾有の  
時代変化を国は「働き方改革」と「Society  
5.0」と名付け、国家の戦略として強力に  
推進し始めま

した。

Society 5.0は、日本が提唱する未来社会  
のコンセプトのことです。科学技術基本計  
画に基づき、5年ごとに改定されている科  
学技術基本計画の第5期に当たる施策  
です。サイバー空間(仮想空間)とフ  
ィジカル空間(現実空間)を高度に融  
合させたシステムにより、経済発展と  
社会的課題の解決を両立しようとする  
試みです。

実際に、AIやIOT、ICTの普及は、自動運  
転のみならず金融、通信、製造、流通、  
サービスなどあらゆる分野で強力に推  
し進められています。

### 原理・原則の再定義

社会の変化は緩やかな時代と急な時代が  
あります。2020年から日本は、急激な  
変化を迎えます。社会の上流で起  
こっている事と下流で起こっている  
事とのギャップが大きくなり、変  
化に対応できた組織とできなかった  
組織の勝敗が明確になっていきま  
す。

これらの変化は、単に設備投資を行  
えば乗り切れるという単純な変化  
ではありません。社会変化や技  
術変化をいち早く読み解き、組  
織の進むべき道筋と組織のある  
べき姿を確立しなければ勝ち残  
る事はできません。そのための人  
材育成もまた時代変化に対応し  
たものでなければなりません。

「どんなに時代が変化しても人とし  
ての原理原則は変わらない」と話  
す人がいますが、組織の中に入  
ってくる人間の変化を考えると、  
その原理原則でさえ再定義しな  
ければ組織運営はまともに機  
能しなくなります。

「キャッシュレス時代が進み、若い  
人たちの間で長財布が売れなくな  
った」という話は冗談ではないの  
です。現金を持ち歩かなくなった  
若い世代に財布は不要なものにな  
りつつあります。こうした変化  
に気づけない経営者や組織に明  
日はありません。同時に、新し  
い世代を受け入れる準備ので  
きていない組織もまた消えて行  
かざるを得ません。

真剣に時代変化や業界変化、地域  
特性や企業特性を分析し、新た  
な原理原則を組織の中に落とし  
込む必要があります。さて、激  
動の2020年を迎える準備は  
できていますか?